

## 西村真悟衆議院議員の辞任を求める抗議文賛同への お礼とご報告 そして、続けます！！

1999 年 10 月 29 日

### ●お礼とお誘い

この度は、西村真悟衆議院議員の辞任を求める抗議文にご賛同いただき、ありがとうございました。本日、東京では国会が召集され（すなわち初日）、国会議員も多数議員会館に出てきているのではないかと思います、突然、賛同の呼びかけを流しました。

おかげさまで、わずか 12 時間の間に日本ばかりではなく、北米やヨーロッパ在住の方々、日本語や英語などで人から賛同の e-mail やファックスをいただきました。

転送されたファックスを打ち直して下さった方々、翻訳してくださった方々、そして夜を徹して知人、友人に連絡をしてくださった方々、本当にありがとうございました。事務所のファックスの回線がお話中で大変だったと思います。

午後になってもまだまだ途絶えない賛同のメールやファックスを前にして、一大決心をしました。2 次集約を 11 月 2 日とすることにしました。そして、11 月 5 日（金）午前 11:30 に永田町の衆議院議員会館前に集まって、みんなで第 2 次集約を届けたいと思います。東京近郊の方はぜひ、一緒に声をあげましょう。

### ●ご報告

VAWW-NET Japan の事務局メンバー 3 人が西村事務所を訪問。しかし、議員本人は不在。訪問の趣旨を伝えると、対応した秘書は議員の一連の発言で「女性に不快感を与える言い方をしたのは、悪かったと思っている。」とまず認めました。しかし、私たちが女性として今回の西村議員の発言に対して非常に憤りを感じていると話すと、議員の弁解を始めました。戦争で女性と子どもが強かんされると言う最悪の事態を防ぐためには国防が必要である、ということを主張していましたが、私たちは「自衛の必要性の根拠として、女性と子どもへの強かんを理由にするべきではない」と伝えました。

男性が国防や外交という手段で弱い女性を守らなければならないという意見を秘書の口から聞いて、政策決定権を持っている女性の官僚や国会議員の立場は何なのか、と思いました。

最後に、共通して 3 人の印象に残ったことは、西村議員の若い秘書までもが「大和撫子」という言葉を頻繁に使っていたことです。これは本人の言葉というよりも、秘書自身の意識の低さを感じました。

### ●VAWW-NET Japan とは

ところで、宣伝を少々。この度、賛同を呼びかけました「戦争と女性への暴力」日本ネットワークは「慰安婦」問題、米軍基地関係者による性暴力の問題、武力紛争下の女性への暴力という三つのテーマに取り組んでいます。そして、2000 年の 12 月に「女性国際戦犯法廷」と現代の武力紛争下の女性に対する暴力に関する国際公聴会を開きます。

その 1 年前にあたる、今年 12 月 12 日には「戦時・性暴力 過去-現在 にどう立ち向かうか」という国際シンポジウムを早稲田大学国際会議場で開きます。ご参加をお待ちしています。今日の報告とともに、意見を寄せていただいた方々がいましたので、それを共有したいと思い添付します。

尚、添付しました抗議文の賛同人名は 10 月 29 日午前 10:30 で締め切ったものです。それ以後のものは、2 次集約に入れさせていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

VAWW-NET Japan

（「戦争と女性への暴力」日本ネットワーク）

事務局一同

- ・地域の女性グループでも辞職要請書を出しました。（女性、東京）
- ・西村発言は男性に対しても侮辱であると思いますし、国家と個人を混同しているような人物が仮にもこの時代に政治を運営しているのかと考えると非常に腹立たしいものです。（男性、東京）
- ・他のところでもいろいろと議論をまき散らしていますが、本当にあーゆー発言を弁護士であり議員である人がいうのかと怒りを乗り越えて呆れ果ててしまいます。そしてこのままお茶を濁してうやむやにしてしまうことも許せません。（女性、東京）
- ・大阪に住む私たちは、横山ノック知事に、裁判を回避するなという抗議をしています。石原知事も女性に関する問題発言をしていると聞きます。本当に怒り心頭です。政治家の人権感覚を今こそ問うていかないと。（女性、大阪）
- ・賛同します。どこかから呼びかけてもらえないかな、と話し合った所でした。すみません。有り難う。（女性、東京）
- ・西村議員辞職要求に賛同します。例の発言にはモーレツに腹がたっていたので、また、こういう品格の持ち主がそのまま居座っている事実に恥ずかしさを感じるので。（女性、東京）
- ・Canada のニュースでも報じられています。（女性、カナダ在住）
- ・夜スペイン在住の知人から、そちらの緊急アピールが転送されてきました。こんな無知蒙昧な国会議員が存在するというのは信じがたいことです。（女性、オーストリア・ウィーン在住）
- ・あのような野卑な人物に議員にとどまられるのは我慢できません。ああいう意識で、“国防”に携わっているのだろうか？そんな人がたくさんいるのだろうか？歴史から学ぶのみならず、ボスニアやコソボの悲劇と同じ事を、まさに自分の住んでいる国の、“今の”人間も起こしかねないのだ、ということを思い知らされました。自由党党首、内閣総理大臣にも、責任はあるぞ！（女性、岡山）
- ・今、中国に住んでいますが、西村発言のあまりのひどさに、あきれはてました。（女性、中国在住）
- ・西村発言は絶対に許せません。このような女性蔑視者がいかに女性を苦しめてきたか。今も苦しめているか。断固として議員辞職を求めます。西村発言は、女性に対しての言葉による“強かん”そのものです。決して許される問題ではない。（女性、東京）
- ・西村の様に侵略戦争を美化し、八紘一字を叫ぶ男は恥だ。何が大和撫子だ。我々の責任で必ず辞めさせよう！（女性、東京）
- ・全く許せません！！（女性、東京）
- ・激しい怒りを感じています（女性、福岡）
- ・西村議員は、政務次官に任命される以前より、差別主義、核武装の必要などの発言を大ぴらにしており、その人の任命という問題を考える時、小渕首相が意図的に彼を配置してみたと思えません。国民を侮辱している。愚民観を首相に感じます。（男女、東京）
- ・西村議員発言への抗議の方法を思いめぐらしていたところでした。（女性、兵庫）

## 内閣総理大臣 小渕恵三殿

自由党党首 小沢一郎殿

10月19日に発売されました「週刊プレイボーイ」11月2日号、及び、10月28日に発売されました「週刊新潮」11月4日号に掲載された西村真悟衆議院議員の発言について抗議します。

戦争、争いの世紀と言われた20世紀に終わりを告げ、人権・平等・ジェンダーの時代が築かれようとしています。国会においても、その視点にたち、「男女共同参画社会基本法」や「児童買春及び児童ポルノ禁止法」が成立しました。

その様な時代の流れの中で、立法府の一員でもある西村真悟衆議院議員は、

「強姦してもなんにも罰せられんのやったら、オレらみんな強姦魔になってるねん。けど、罰の抑止力があるからそうならない。」

この発言を素直に解釈するならば、西村議員は強かん罪で処罰されることをおそれ、強姦魔になることを自粛しておられるということになります。

西村議員はさらに、

「集団自衛権は、『強姦されてる女を男が助ける』という原理ですわ。同じように言えば、征服とは『その国の男を排除し、征服した国の女を強姦し、自分の子どもを生ませる』ということです。逆に、国防とは『我々の愛すべき大和撫子が、他国の男に強姦されることを防ぐこと』」

と発言しています。

この考え方は、戦争が男性中心に考えられ、闘われ、女性や子どもが犠牲になっていることを如実に表しています。そればかりか、世界的に非難されている民族浄化思想を堂々と述べています。

50数年前、この様な考え方を持つ日本軍によって、隣国の少女や女性たちは「慰安所」などに連行され、強かんされました。この責任をまだとっていない日本の立法府の一員である西村議員の発言は、許されることではありません。

私たちは西村議員の発言が、女性に対する暴力であると考えています。しかし、「週刊新潮」11月4日号に掲載されている西村議員の発言は反省の色が全く見受けられません。

今回の問題は、西村議員が政務次官を辞任すれば良いということではありません。この様な女性差別と危険な民族浄化思想の持ち主に立法府の一員である資格はありません。

さきの国会で成立しました男女共同参画社会基本法の付帯決議で女性に対する暴力の根絶に積極的に取り組むことが盛り込まれました。

私たちは以下のことを要求します。

1. 西村真悟衆議院議員の辞職を勧告するよう要請します。
2. 再発防止のために、
  - a. すべての国会議員に対し、女性に関する法律や日本が批准している条約の研修を、毎年定期的に、行うこと
  - b. 男女共同参画社会基本法の付帯決議の実現に向け、女性への暴力をなくし、女性が安心して社会に参加できる環境を整えていくこと
  - c. 女性への暴力に対する法律の整備をすること

1999年10月29日

賛同人一同：青柳憲子（オーストリア・ウィーン） 赤阪玲子（京都） 浅川和也（埼玉）  
芦田麗子（大阪） 安部宝根（東京） 荒井真理（東京） 池田恵理子（東京）  
池橋みどり（東京） 石井美登里（福岡） 石川京子（東京） 石川久枝（東京）  
石川康子（東京） 石田久仁子（東京） 石田英敬（東京） 石塚安子（岡山）  
石附草子（新潟） 和泉健次郎（岡山） 和泉さくら（岡山） 和泉つばな（岡山）  
和泉富美子（岡山） 和泉素行（岡山） 出雲雅志（東京） 市場恵子（岡山）  
市場尚文（岡山） 伊藤早苗（大阪） 伊藤道子（北海道） 市橋秀夫（東京）  
稲田美代子（東京） 井上森（東京） 井上由美子（福岡） 上田佐紀子（東京）  
上田律子（兵庫） 上野恵子（東京） 上原孝子（富山） 鵜飼哲（東京）  
梅垣千尋（東京） 江口昌樹（新潟） 江藤裕子（富山） 榎本璋子（新潟）  
大内田優子（神奈川） 大内裕和（愛媛） 大川正彦（東京） 大下幸恵（カナダ）  
大谷猛夫（東京） 大津恵子（東京） 大橋洋一（埼玉） 大原八重子（新潟）  
岡真理（大阪） 岡田玄（京都） 岡田春美（富山） 岡野文彦（東京）  
岡村美智子（東京） 小川和也（東京） 小川宏美（東京） 隠岐さや香（東京）  
長恵子（東京） 長志珠江（京都） 小沢弘明（東京） 尾塩真澄美（富山）  
尾塩良明（富山） 小野サチ子（大分） 小野久（大分） 笠原弘子（東京）  
柏木美子（千葉） 加藤亜衣子（東京） 加藤郁枝（岡山） 加藤喜代美（岡山）  
加藤春恵子（東京） 金子マーティン（神奈川） 亀高照夫（岡山） 加藤春恵子（東京）  
辛島理人（東京） 川村肇（埼玉） 神崎昌子（岡山） 漢人明子（東京）  
菊池和子（北海道） 北垣景子（新潟） 金千佳（東京）  
Kim Tong Fi（アメリカ・カリフォルニア） 金富子（東京） 梶座久子（富山）  
木下薫（神奈川） 窪田佐俊（岐阜） 黒木藍（北海道） 鋏野恵美子（岡山）  
桑山亜也（東京） 小池彰（東京） 小石玲子（大分） 郷原佳以（東京）  
高良真木（神奈川） 小嶋順子（神奈川） 五島昌子（東京） 小西裕美（長野）  
コリン・コバヤシ（フランス・パリ） 小林しのぶ（北海道） 小林仁（北海道）  
駒込武（京都） 小松厚子（東京） 小松宣子（福岡） 近藤野百合（栃木）  
近藤文子（新潟） 斉藤久美子（東京） 斉藤寿子（東京） 斉藤俊実（東京）  
斎藤博（東京） 斉藤由美子（東京） 斉藤芳雄（東京） 坂井隆之（埼玉）  
佐藤智美（大分） 佐藤まゆみ（東京） 末次聡子（大分） 杉山優子（東京）  
鈴木明子（富山） 鈴木弘子（東京） 鈴木裕子（東京） 鈴木有香（東京）  
柴崎温子（東京） 志麻愛子（富山） 嶋崎由美子（東京） 清水愛理（東京）  
東海林勤（東京） 東海林路得子（東京） 新郷啓子（スペイン・グラナダ）  
鈴木香織（東京） 須田紀久身（東京） 清家美佐子（東京） 関昊子（神奈川）  
関暢子（神奈川） 関典子（神奈川） 徐京植（東京） 高岡日出子（東京）  
高岡由子（富山） 高智富美子（大阪） 高月雅子（神奈川） 高橋喜久江（東京）  
高村幸子（岡山） 滝知則（イギリス） 滝光子（イギリス） 瀧村宏子（岡山）  
武田美幸（富山） 田崎秀明（大阪） 立花英裕（神奈川） 田中絵里緒（埼玉）  
田中三和（大分） 谷元絢子（広島） 田場祥子（東京） 田村紀子（大阪）  
田村伴子（東京） 俵義文（千葉） 辻田尚代（東京） 趙寛子（東京）  
ディエットラン・陽子（フランス・パリ） 豊田道子（大分） 徳永五郎（東京）  
戸塚悦朗（アメリカ・シアトル） 富山妙子（東京） 内藤和美（群馬）  
直原一美（岡山） 直原美和（岡山） 永井律子（岡山） 中川寿子（東京）  
中川加代子（大阪） 長沢孝子（岡山） 中瀬詔子（岡山） 長瀬由美子（岡山）  
中込由美（富山） 中野敏男（東京） 中野敏男（東京） 中山ジロウ（フランス・パリ）  
成田匡宏（宮城） 西澤真知（新潟） 西澤あゆ（新潟） 西村誠（長野）  
西野瑠美子（東京） 西山雄二（東京） 丹羽雅代（東京） 野村羊子（東京）  
灰谷昇（東京） 萩原明子（大分） 橋本哲（京都） 長谷川博子 花房恵美子（福岡）  
浜田糸衛（神奈川） 早尾貴徳（宮城） 原山浩介（京都） 東琢磨（東京）

平井文則（鳥取） 平井裕美子（鳥取） 平川奈保美（東京） 福永真弓（東京）  
タカシ・フジタニ（アメリカ・カリフォルニア） 藤森浩之（大阪） 藤原寛人（鳥取）  
二村智恵子（富山） 船橋裕子（京都） 古川俊実（東京） 古川宏子（東京）  
堀江節子（富山） 本田恭子（富山） 前田多嘉子（岡山） 牧田真由美（東京）  
牧野映（山形） 松浦弘幸（東京） 松田佳子（東京） 松永貞子（神奈川）  
松原和仁（富山） 松原裕樹（富山） 松原葉子（富山） 松原嘉子（富山）  
松本真紀子（大分） 松本昌次（埼玉） 三浦尚子（東京） 皆川万葉（宮城）  
光永サチ子（大阪） 源淳子（京都） 実村文（東京） 宮崎京子（富山）  
宮原理恵（東京） 武藤一羊（神奈川） 持橋多聞（東京） 本橋哲也（東京）  
保田千世（東京） 山内美智子（富山） 山口明子（東京） 山下玲子（神奈川）  
山下英愛（アメリカ・シアトル） 山中仁美（東京） 山野和子（山形） 尹慧瑛（東京）  
横井小夜子（東京） 横田えつこ（岡山） 横山新太郎（大分） 横山陽子（新潟）  
吉池俊子（神奈川） 吉岡章子（東京） 吉田俊実（東京） 吉原玲子（東京）  
寄村仁子（大分） 渡辺公子（東京） 和智綏子（東京）